

学力向上で

児童生徒の夢の実現を！

学力向上レインボープランⅡ事業



▲只見高等学校3年生の習熟度別授業



▽趣旨

①希望する企業への就職、専門学校や大学への進学、地元に残って家業を継ぐ、あるいは起業するなど児童生徒の夢はさまざまです。これらの夢を実現するためにも学力が基盤となります。

②只見町も経済の低迷、少子高齢化などさまざまな課題があります。こうした厳しい社会状況だからこそ未来の只見町を支えてくれる人材が必要です。そのためには「地元の人材は地元で育てる」ことが大切です。やがての只見高等学校から起業家や医者や弁護士などのさまざまな人材が輩出されることを願ってこの学力向上事業に取り組みます。

▽実施期間
平成22年度から平成26年度までの5年間取り組みます。

▽内容

【保育所】

読書活動の充実で豊かな言語を身につけます。

【小学校】

算数の学力向上や外国語活動の充実に努めます。

【中学校】

数学・英語の習熟度別指導やIT（チームティーチング）指導で学力を高めます。

【高校】

数学・英語の習熟度別指導で学力を高めます。

▽成果と課題

○平成15年から平成21年度まで学力向上レインボープランⅠ事業として小中高校の連携で国語の学力向上に取り組み大きな成果が得られました。

○現在、算数、数学、英語の学力の伸び悩みが見られ課題となっています。

○家庭ではテレビやゲームなどで過ごす時間が多く、家庭学習の習慣化が未定着となっています。

○将来の自分の目標が決められないまま進学している状況もあり課題となっています。

本年度から教育委員会では、「学力向上レインボープランⅡ事業」に取り組んでいます。
この事業は、児童生徒の将来の夢を実現させることを目的に、保育所から、小学校、中学校、そして只見高等学校までの連携指導を行い、基盤となる学力の向上を目指す事業です。この事業を広く町民の皆様にご理解いただくとともに、子どもたちの夢の実現に向け、ご協力をいただきたく、各学校の取り組み内容をご紹介します。

只見高等学校

校長 鈴木 健司

▽本年度の学力向上の目標

- ・家庭学習
1学年…2時間
2学年…3時間
3学年…4時間

▽主な取り組み

- ①家庭学習の習慣化
- ②読書習慣の確立
- ③理解度に応じた習熟度別授業の実施（英語、数学）
- ④学ぶ意欲を高める講演会の実施
- ⑤英語検定の奨励
- ⑥授業規律の保持

▽学力向上への校長の思い

高校卒業時の進路選択は、その後の生き方に大きな影響を与える大事な選択です。この選択の際に、本人の夢や環境も大切ですが、本人の持つ学力によって左右されます。どのような生き方をするか選択の幅を広げるためには、高い学力を身につけておくことが不可欠です。

只見小学校

校長 高橋 吉博

▼本年度の学力向上の目標

- ①単元テスト平均 80点以上 80%以上
- ②学習定着確認シート達成率 80%以上
- ③標準学力検査の偏差値 国語57以上 算数55以上

▼主な取り組み

- ①めあてとまごめを重視した授業
- ②繰り返し練習問題を解き、学力の定着を図る。
- ③習熟度別学習を取り入れ、少人数学習を推進する。
- ④授業研究を一層充実させ、指導の腕を磨く。
- ⑤算数科の習熟時において、組織体制で臨み、学力の定着を図る。
- ⑥家庭学習の充実を図る。(学年×10分の徹底)
- ⑦読書活動の充実を図り、読解力を身につけさせる。

▼学力向上への校長の思い

「生きる力」を育むためには、知・徳・体のバランスのとれた力が大事です。その中の知(学力)の向上は、最も大切であり、学校の責務であります。将来の夢実現のために、基礎基本の定着を図り、十分な学力を身につけさせ、中学、高校へと橋渡しをしていきたいと考えます。

朝日小学校

校長 佐藤 雅義

▼本年度の学力向上の目標

- ①各種テスト全国または県平均 110%
- ②個の実態から予想される学力水準より低い児童 0%
- ③家庭学習の時間 学年×10分+a

▼主な取り組み

- ①思考力・表現力向上を目指した授業の改善・充実
- ②「めあて」と「まごめ」を明確にした授業の実施
- ③考え方・ノート等「学び方指導」と学習環境の充実
- ④学習定着確認シートの完全実施と評価、正答を導く考え方の指導
- ⑤チャレンジタイムの充実(基礎・活用等各種問題の実施と考え方の解説)
- ⑥読書タイムの充実による読解力と感性の育成
- ⑦手引きによる家庭学習の習慣化(家庭学習時間〓学年×10分+a)

▼学力向上への校長の思い

苟子は、学問を「困ったことが起きてもしっかり問題を解決する力・苦しさや辛さに負けない強い力を育てるためである。順調な時も災いが起きた時もしっかりと生きていく力を身につけるため」と言っています。子どもの夢を実現し、どのような環境にあっても、より良く生きるために学力向上は必要です。



▲朝日小学校6年生の国語の授業

明和小学校

校長 馬場 永好

▼本年度の学力向上の目標

- ①標準学力検査の偏差値 国語55以上 算数53以上
- ②ベネッセ総合学力調査(平均到達度) 国語78以上 算数62以上
- ③学習定着確認シートの達成率 85%以上

▼主な取り組み

- ①ねらいを明確にするとともに、まごめの時間を確保する。
- ②子供たちの興味関心が持続する教材を工夫し、意欲を高める。
- ③習熟の度合いに応じた教材を

準備し、学習内容の確実な定着を図る。

- ④ノートを効果的に活用すること、思考力や表現力を養う。
- ⑤算数科ではTT(チームテイーチング)による授業を進めることで、きめ細かな指導を行う。
- ⑥朝の時間を利用した「確認テスト」により、定着の度合いを確認する。
- ⑦家庭との連携を図り、家庭学習の習慣(学年×10分)を身につけさせる。

▼学力向上への校長の思い

本校教育目標でもある、進んで学習する子ども(知)、思いやりのある子ども(徳)、強くたくましい子ども(体)を重視させ、「只見学」の推進も図りながら、教育委員会の「3・5・10」年後の高校入試の長期目標達成のため、全教職員で取り組みます。



▲只見中学校3年生の全体指導

只見中学校

校長 吉津 政一

▼本年度の学力向上の目標

- ①分かる授業・楽しい授業 70%以上(生徒アンケート)
- ②実力テスト 8%アップ
- ③各種検定所有率 50%

▼主な取り組み

- ①問題解決のための見通しを持たせる。
- ②生徒同士の学び合いの場を設定する。
- ③授業のねらいを明確にする。
- ④各種検定への積極的参加を呼びかける。
- ⑤ねらいとまごめに一貫性のある授業を行う。
- ⑥授業にまごめの時間を十分に確保し、確実な定着を図る。

▼学力向上への校長の思い

現在の中学生にとって、高校入試はほとんどの生徒が避けて通れない人生の一つのハードルです。そして、その先には大学入試あるいは就職試験が待っています。近い将来のために、生徒の学力向上に取り組み、全国で戦うための学力をつけていきたいと思っています。

以上のように、学校ごとに課題を整理し、学力向上に努力いたします。皆様のご協力をよろしくお願いいたします。